

# 生徒指導マニュアル

(いじめ防止対策マニュアル)

『いじめは人間として絶対に許されない』

『何があっても絶対に死んではいけない』

## 1 学校教育目標

◎豊かな心を培い、自ら学ぶ力を育て、  
心身ともにたくましい児童の育成

めざす児童像

- 1 学び合う子（知力）
- 2 認め合う子（徳力）
- 3 きたえ合う子（体力）

めざす学校像

- 1 明るく元気な学校
- 2 よさを伸ばす学校
- 3 教育活動が見える学校

## 2 学校経営方針

- 1 創意と組織を生かした学校運営
- 2 学習指導の充実
- 3 健康教育の充実
- 4 生徒指導の充実
- 5 人権教育の充実
- 6 開かれた特色ある学校づくり

### 【生徒指導心得】

◎是々非々で

「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを！

- ・だれにでも分かる授業を心がけ、確かな学力をつけます。
- ・児童の側に立ち、徹底して指導します。
- ・全職員で対応します。
- ・いざという時、専門家（プロ）に相談します。

熊谷市立中条小学校

## 生徒指導心得

### (1) 誰もがわかる授業をし、確かな学力をつけます。専門職としての誇り

教師は教えるプロであり「素人にもわかる授業」しかし「素人にもできる授業」ではいけない。広辞苑に教育の定義には「人間に他から意図を持って働きかけ、望ましい姿に変化させ・・・」とある。どんなに一生懸命働きかけても、教えても活動させても児童生徒が望ましい姿に変化しなければ「教育」とは言えない。「わからない」と言う姿から「わかる」と言う望ましい姿に「できない」から「できる」に変化させてはじめて教育が成り立つということである。児童生徒に確かな学力をつけて、はじめてプロ専門職と言われる。

### (2) 徹底して「かまって」あげます。(健全育成の基本)

「かまう」(構う)ということばを広辞苑で引くと「係わる、関係する、世話をやく、もてなす、気をつかう」とある。マザー・テレサの言葉に「愛の反対は憎しみではなく、無関心である」という言葉がある。存在感や立場を完全否定してしまう「無関心」であってはいけない。まだ、憎んでいるうちはそれなりに関心があるということである。生徒指導で一番大切なことは「かまってあげる」ことである。

### (3) いざという時、全員で動きます。(組織への信頼)

例えば、いじめが発見されたらまず「緊急職員会議」を行うことが何より重要である。授業中であろうと給食中であろうと、緊急に開くことに意味がある。先ず全職員が知ることが大切であると同時に子どもたちに「何が起きたのだろうか？」と緊急事態発生を知らせることで、被害の子どもはもちろん、加害の子どもやその周辺にいた子ども、ひいては保護者達にも、その結果「何か起きたら、大事な授業も中止して全員で緊急事態に対応してくれる」という安心感を与えることになる。細かな事実を確認するのは後からでもできる。けがをしたら先ず応急処置として、止血することと同じである。しかし、いじめはそのけがの大きさは見えにくい。「何かあったら、先生方がすぐに動いてくれる」という安心感を与えることで先生や学校、学校という組織への信頼感が高まり、子どもも保護者も相談しやすい場となる。しかし、はじめの対応でボタンを掛け違えると、解決に時間もかかり、信頼とは反対に不信感をもたれてしまう。学校は、子どもからの訴えや保護者からの相談には、誠意をもって真摯に対応することが何より重要である。

### (4) 一秒でも早くプロの手に渡します。(関係機関との連携)

学校は、ある意味社会と同じようになっていなければならない。「学校は社会の縮図、社会で許されないことは学校でも許されない」ということを子どもや保護者に伝えておかななければならない。これでもか、これでもかとかまってあげる。しかし、これが学校の範疇や限界を超えた行為に当たるようなときは、迷わずプロに任せる。逃げではなく、子どものことを考え、「子ども達にとって何がベターなのか」を判断基準に決断した結果、この道のプロである警察等に任せるのである。

場面	児童のサイン
登校時刻から始業前	<input type="checkbox"/> ①いつも一人で登校する。友達と登校していても表情が暗い。 <input type="checkbox"/> ②登校時間が一定していない。(早く登校したり、遅く登校したりしている) <input type="checkbox"/> ③自分からあいさつをしない。友達からのあいさつや言葉がけがない。 <input type="checkbox"/> ④あいさつや声かけをしても、はっきりとした返事が返ってこない。 <input type="checkbox"/> ⑤元気がなく、顔色がすぐれない。 <input type="checkbox"/> ⑥はっきりした理由もなく欠席することがよくある。 <input type="checkbox"/> ⑦声に出し、心を込めた呼名をしても、元気の悪い返事をしたり、返事をしなかったりすることがある。 <input type="checkbox"/> ⑧健康観察の時、頭痛、腹痛、吐き気をよく訴える。 <input type="checkbox"/> ⑨宿題や朝の課題をほとんどやっていない。また、提出物が出せない。 <input type="checkbox"/> ⑩授業の準備をせず、ぼんやりしていたり、そわそわしている。
<p><b>【教師の手だて】 “はじめが肝心 ようこそ中条小へ”</b></p> <input type="checkbox"/> ①児童の登校時刻や登校のようすを把握し、それに応じた温かい対応をする。 <input type="checkbox"/> ②教師から『おはよう』の声かけをし、児童の今日の心理状態を把握する。 <input type="checkbox"/> ③朝の読書や提出物等の出来具合等を把握し、賞賛や励ましを行う。 <input type="checkbox"/> ④声に出し、心を込めた呼名による健康観察を行い、一人一人を視診するとともに、気になる児童への声かけを行う。 <input type="checkbox"/> ⑤朝の会では、今日一日の予定をきちんと説明し、目的をもった生活をしようとする意欲を持たせる。 <input type="checkbox"/> ⑥朝の会等で、欠席者の理由を上手に伝え、教師の温かい思いやりが学級や欠席者に伝わるように工夫をする。 <input type="checkbox"/> ⑦遅刻してくる児童の理由や原因を追及する前に、学級全員で温かく迎える雰囲気をつくる。 <input type="checkbox"/> ⑧今日の学習に対する意欲づけをする。	

場面	児童のサイン
授業時間	<input type="checkbox"/> ①宿題や課題、提出物等の忘れ物が多くなってきている。 <input type="checkbox"/> ②教室に入れず、保健室や職員室等に来て時間を過ごす。 <input type="checkbox"/> ③授業が始まってから、一人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> ④授業が始まっているのに机上に学用品が散乱している。 <input type="checkbox"/> ⑤教科書やノートなどに落書きされるなどして、汚されている。 <input type="checkbox"/> ⑥体の不調を訴え、たびたび保健室やトイレに行く。 <input type="checkbox"/> ⑦おどおどして発言をためらったり、うつむいたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧特定の児童の発表や間違いのときだけ、やじが飛ばされたり笑われたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨特定の児童を褒めると、周りの児童があざ笑ったり、しらけたりする。 <input type="checkbox"/> ⑩特定の児童が学習内容と全く関係のないことを発言し（させられ）みんなの笑い者になっている。 <input type="checkbox"/> ⑪二人組を作ったり、グループを作って学習する時、特定の児童が取り残される。 <input type="checkbox"/> ⑫係決めなどをする時、特定の児童が入った係には他の児童が入ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ⑬学習意欲がなく、学習内容が理解できなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑭これといった明確な理由がないのに、学習成績が急激に下がる。
<p><b>【教師の手だて】 “児童の側に立ったよい授業をする”</b></p> <input type="checkbox"/> ①笑顔で入室するなど、児童との出会いの時の態度に配慮する。 <input type="checkbox"/> ②否定的な言葉や態度で授業を始めない。 <input type="checkbox"/> ③学習態度や準備ができていない児童に対しては、その原因を探り、援助・指導をしていく。 <input type="checkbox"/> ④教師の思惑とは違う考えや誤答も大切に学習にする。 <input type="checkbox"/> ⑤児童が安心して発言できる学習の雰囲気づくりをする。 <input type="checkbox"/> ⑥学習が遅れがちな児童も、学習中に活躍できる場面を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑦学習が遅れがちな児童やつまづいている児童に個別指導をする。 <input type="checkbox"/> ⑧児童の多様な考えが発揮できる場を意図的に設ける。 <input type="checkbox"/> ⑨授業のまとめの段階では、児童の理解度を把握するように努める。	

場面	児童のサイン
休み時間	<input type="checkbox"/> ①これまで仲の良かったグループから外されている。 <input type="checkbox"/> ②どこのグループにも入れず、一人でポツンとしている。 <input type="checkbox"/> ③自分から友達に声掛けすることなく、誘われるままに元気なくついていく。 <input type="checkbox"/> ④保健室に出入りすることが多くなっている。 <input type="checkbox"/> ⑤用事もないのに職員室付近をうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑥教師にべたべた寄ってきたり、隠れるようにして話したりする。 <input type="checkbox"/> ⑦遊びのなかで笑い者にされたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧一緒に遊んでいるように見えても、表情がさえず、おどおどした様子が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑨一緒に遊んでいる友達に異常なほどの気遣いをしている。 <input type="checkbox"/> ⑩遊びのなかでいつもいやな役をさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪プロレス遊びや〇〇ごっこのようなことに無理やり加えられている。 <input type="checkbox"/> ⑫トイレ等に閉じこもっている。 <input type="checkbox"/> ⑬普段はおとなしい男子が、女子トイレに入ったり、スカートめくりなどをしている。 (させられている。) <input type="checkbox"/> ⑭休み時間前にはなかった衣服の汚れや破れ、擦り傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑮一人で寂しそうに教室にもどってくる。 <input type="checkbox"/> ⑯遊びで使った道具等の後始末をいつもさせられている。
<p><b>【教師の手だて】 “一人で30秒 35人でたったの17分30秒”</b></p> <input type="checkbox"/> ①休み時間になった時、児童が遊び仲間を作って遊びに行く様子を観察する。 <input type="checkbox"/> ②遊びに入れたい児童をそのままにせず、誘い合って遊べるように働きかける。 <input type="checkbox"/> ③教師自ら、できるだけ児童と一緒に遊ぶことを心がける。 <input type="checkbox"/> ④児童との対話や声がけを通して、悩みなどを把握し、援助・指導をする。 <input type="checkbox"/> ⑤「これ遊びですよ」という児童の言葉をうのみにしない。 <input type="checkbox"/> ⑥児童の表情などから、休み時間の満足度を把握する。 <input type="checkbox"/> ⑦授業終了の時刻と開始の時刻を守り、休み時間を確保する。	

場面	児 童 の サ イ ン
給食時間	<input type="checkbox"/> ①敬遠しがちなメニューの品を特定の児童にだけ山盛りにする。 <input type="checkbox"/> ②特定の児童への配膳忘れ（意図的）がよくある。 <input type="checkbox"/> ③特定の児童が配膳すると周りの児童が受け取ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ④食器の中に異物が入れていることがよくある。 <input type="checkbox"/> ⑤配膳のための列をつくる時、特定の児童の近くにだけ並びたがらない。 <input type="checkbox"/> ⑥腹痛や吐き気を訴えることが多く、給食を残したり食欲がなくなったりしている。 <input type="checkbox"/> ⑦班で机を寄せて会食するとき、いつも特定の児童の机だけ離されている。 <input type="checkbox"/> ⑧班での会話に、特定の児童だけ入れてもらえず無視されている。 <input type="checkbox"/> ⑨話題が特定の児童の悪口や失敗事が中心となっており、面白そうに話されている。 <input type="checkbox"/> ⑩特定の児童が、一人で食器の片付けをさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪食器の片付けや返却、運搬の時、特定の児童がいつも重いものや汚れたものを持たされる。 <input type="checkbox"/> ⑫配膳台等の後始末を、特定の児童が一人で最後までさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑬牛乳パックの処理を特定の児童がいつも一人でさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑭給食用のエプロンの洗濯をいつも特定の児童がさせられている。
<p><b>【教師の手だて】 “何事も食事に現れる”</b></p> <input type="checkbox"/> ①給食当番が配膳等の役割分担を決める方法を把握しておく。 <input type="checkbox"/> ②児童と一緒に配膳をする。 <input type="checkbox"/> ③全員の配膳、着席が確認できてから「いただきます」をさせる。 <input type="checkbox"/> ④意図的、計画的に班の中で食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑤班での会食では、一人一人の児童理解に努めるとともに、児童との相互理解が図れるよう楽しく食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑥偏食や食事量の偏り等について、改善されるよう自己努力を促すとともに、継続的に援助・指導していく。 <input type="checkbox"/> ⑦児童の給食時の変化に気付くために、日頃から、好き嫌いや食べ方等について観察し、だいたいようすを把握しておく。 <input type="checkbox"/> ⑧後片付けは児童に任せないで、最後まで見届ける。 <input type="checkbox"/> ⑨全員の後片付けが終わってから、昼休みを取るようさせる。	

場面	児童のサイン
清掃時間	<input type="checkbox"/> ①特定の児童と同じ清掃場所になろうとしない。 <input type="checkbox"/> ②いつもみんながいやがる仕事や場所が割り当てられる。 <input type="checkbox"/> ③特定の児童の雑巾や清掃用具がよくなくなったり、ごみ箱に捨ててあったりする。 <input type="checkbox"/> ④特定の児童だけが清掃用具を持たないでいたり、古い用具を使わせられたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑤一人だけ離れた場所で清掃している。 <input type="checkbox"/> ⑥教室の机や椅子を運搬するとき、いつも特定の児童のものだけ取り残されている。 <input type="checkbox"/> ⑦特定の児童だけ清掃させられており、他の児童はそれを見てからかったりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧特定の児童が床を拭いたり、掃いたりしようとすると、その前がふさがれたり、股の下を通らされたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨清掃後、必要以上に衣服がひどく汚れていたり、ぬれたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑩他の児童は清掃が終わっているのに、一人だけ続けていたり、後片付けをしたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑪いつも、次の授業に遅れてくる。
<p><b>【教師の手だて】</b> “清掃は人の心を磨くまで”</p> <input type="checkbox"/> ①児童が行っている清掃担当箇所や用具の分担のようすを把握する。 <input type="checkbox"/> ②仕事は全員で分担し、協力して仲良く行われるよう、その都度援助・指導する。 <input type="checkbox"/> ③児童と一緒に清掃する機会を持つ。 <input type="checkbox"/> ④担当の清掃箇所を必ず一回は巡回するようにする。 <input type="checkbox"/> ⑤清掃をしないで遊んでいる児童を指導するとともに、一生懸命やっている児童に対して「よくやっているね」等の声かけをする。 <input type="checkbox"/> ⑥清掃用具の後始末まで見届け、最後まで頑張った児童にはねぎらいの声かけをする。 <input type="checkbox"/> ⑦全員であいさつをして終わりにする。	

場面	児童のサイン
帰りの会から下校時	<input type="checkbox"/> ①帰りの会での配布物が、特定の児童だけに渡らない。 <input type="checkbox"/> ②帰りの会で、いつも特定の児童が追及されるなどしている。 <input type="checkbox"/> ③何か起こると、いつも特定の児童のせいにされる。 <input type="checkbox"/> ④下校時刻が近くになると、不安そうな表情が見え、落ち着かない。 <input type="checkbox"/> ⑤帰りの会が終わっても、用事がないのに教室に残っている。 <input type="checkbox"/> ⑥帰りの会の後、用事がないのに教師や職員室のまわりをうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑦朝や昼には見られなかった衣服の汚れや擦り傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑧特に理由もないのに、いつも一人で急いで下校する。 <input type="checkbox"/> ⑨教師の目の届きにくい場所に友達が（待ち伏せて）いて、一緒に帰る。 <input type="checkbox"/> ⑩いつも友達の荷物を持たされている。 <input type="checkbox"/> ⑪帰る時になって、特定の児童の靴や持ち物等がなくなっており、捜してもなかなか見つからない。
	<p><b>【教師の手だて】 “さようなら また明日”</b></p> <input type="checkbox"/> ①帰りの会の運営については適時、援助・指導する。 <input type="checkbox"/> ②今日一日の生活を振り返らせ、自己を見つめさせるような工夫をする。 <input type="checkbox"/> ③帰りの会を連絡だけで終わりにせず、相互の心の交流を図る場として充実させる。 <input type="checkbox"/> ④よかったこと、うれしかったことなどを認め合い、賞賛し合う時間を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑤教師から見た、よかったことや反省すべきことなどを話し、明日への意欲づけを行う。 <input type="checkbox"/> ⑥お互いが気持ちよく『さようなら』ができるように工夫する。 <input type="checkbox"/> ⑦『さようなら』の時、児童の表情を観察し、普段と変わらないかどうか確認をする。 <input type="checkbox"/> ⑧問題を抱えた児童に対しての個別相談を行う。



場面	チェック内容
その他・全体	<input type="checkbox"/> ①衣服の汚れや破れ、ボタンが取れているなど服装に異常が見られる。 <input type="checkbox"/> ②理由のはっきりしない傷やあざ、鼻血、怪我等が見られる。また、それを隠そうとしている。 <input type="checkbox"/> ③文具類や履き物等の持ち物が隠されたり、壊されたりする。 <input type="checkbox"/> ④不自然な言動が見られ、表情が暗く、周囲を気にしている。 <input type="checkbox"/> ⑤普段明るい児童が、急に元気がなくなり、ふさぎこんでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥頭痛や腹痛、吐き気などをよく訴えるようになる。 <input type="checkbox"/> ⑦一人で行動することが多くなり、集団行動を敬遠するようになる。 <input type="checkbox"/> ⑧活気がなくなり、おどおどすることが多くなる。 <input type="checkbox"/> ⑨嫌なあだ名で呼ばれたり、「クラスの恥」などと言われ、除け者にされるようになる。 <input type="checkbox"/> ⑩特定の児童の机や椅子、持ち物などに触れようとしなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑪席替えの時、いつも特定の児童の近くに座るのを嫌がる。 <input type="checkbox"/> ⑫班長や係、代表委員等の選出がまじめに行われず、押しつけで選ばれる。 <input type="checkbox"/> ⑬グループ作りなどを行う時、なかなか特定の児童の所属が決まらない。 <input type="checkbox"/> ⑭文字や作品等が乱雑になってくる。 <input type="checkbox"/> ⑮掲示作品や黒板、壁等に中傷の言葉や悪質な落書きが見られる。
	<p><b>【教師の手だて】 “やって見せて 言って聞かせて やらせて見て ほめてやらねば人は動かず”</b></p> <input type="checkbox"/> ①「愛の鞭」などと称して体罰は絶対に行わない。 <input type="checkbox"/> ②「だめなものはだめ」という毅然とした態度を示しながらも、何でも頭ごなしに叱らない。かげで、短く、比較しないで叱る。 <input type="checkbox"/> ③感情に任せて、児童の心を傷つける言葉を発しない。 <input type="checkbox"/> ④特定の児童ばかりを叱ったり褒めたりしない。 <input type="checkbox"/> ⑤「〇〇さん」といった温かい呼称で呼ぶ。または快い愛称で呼ぶ。 <input type="checkbox"/> ⑥児童の言動や表情の変化に気付くよう、普段から一人一人をよく見る。 <input type="checkbox"/> ⑦児童会活動や学級活動、クラブや委員会活動等を自主的な活動とって、すべてを任せない。 <input type="checkbox"/> ⑧児童の信頼関係づくりに力を入れる。 <input type="checkbox"/> ⑨児童と触れ合う時間を意図的に増やすように努める。 <input type="checkbox"/> ⑩学級日誌や児童の作品等に温かいコメントを入れる。 <input type="checkbox"/> ⑪一面的な物差しで児童を評価せず、多面的にとらえ、それぞれのよさを認め、伸ばすように心がける。